



2023年10月6日

各 位

会 社 名 株式会社ビジョナリーホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 大輔
(コード：9263 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役職・氏名 執行役員CFO 三井 規彰
電 話 03-6453-6644 (代表)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2024年4月期を初年度とする4か年の中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社グループは、社会における永続的な当社グループの存在意義として“五感の健康寿命を100年に”を掲げ、五感の健康寿命延伸による社会貢献と持続的な成長に向けた取り組みを進めております。中核の小売事業においては、眼鏡・コンタクトを販売するにとどまらず、眼の健康寿命を延ばすために必要なあらゆる解決策(=商品・サービスやアドバイス)を提供するため、アイケアに注力した商品・サービス展開とその深耕を図るほか、補聴器やリラクゼーションといった五感領域への事業拡大及び深化を図るとともに、他業種との事業提携などを通じて、当社グループの更なる成長機会の創出を目指しております。

当社は、2019年6月18日付「中期経営計画策定に関するお知らせ」にて公表のとおり、2023年4月期を最終年度とする中期計画を策定し公表しておりましたが、昨今のコロナ禍を契機とした消費者の価値観や行動様式の変容、国際情勢の変動等による原材料高など、企業を取り巻く事業環境は大きく変化しており、最終年度である2023年4月期の数値目標は未達となっております。

そのような中、当社グループの業績はコロナ禍から回復傾向にあるものの、収益性などに課題を抱えている状況を踏まえ、このたび2027年4月期を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。

中核の小売事業は、従来とおり眼鏡・コンタクトを販売するにとどまらず、眼の健康寿命を延ばすために必要なあらゆる解決策(=商品・サービスやアドバイス)を提供するため、アイケアに注力した商品・サービス展開とその深耕を図っていくことに加えて、より良い商品・サービスを最適な価格で消費者にお届けすることを通じて、五感の健康寿命延伸による社会貢献と持続的な成長を目指してまいります。

2. 中期経営計画の基本方針・戦略及び定量目標

(1) 基本方針・戦略

中核となる小売事業においては、眼鏡・コンタクト・補聴器を中心に、眼と耳の健康寿命を延ばすために必要な商品・サービスやアドバイスを高度な知識・スキルをもって提供していきます。お客様により高い満足度を提供していくため、より良い商品・サービスを分かりやすくリーズナブルな価格で提供していきます。このため、眼鏡については顧客数の増加を見込む一方、商品・サービスの質は維持、もしくはより高いものを志向するものの、単価については抑止していくことを見込んでおります。コンタクトについては豊富な知識に基づくアドバイスを提供するとともに、定期便の UI・UX を再構築することで、より便利に、より長期に継続的にご利用頂くことを目指します。

卸売事業については、ハイブランドを展開する Marcolin 社の日本総代理店である Visionize を中心に、国内眼鏡店様を中心に最新のモードを提供し続けてまいります。

(2) 連結数値目標

	2023年4月期 (実績)	2024年4月期 (計画)	2025年4月期 (計画)	2026年4月期 (計画)	2027年4月期 (計画)
売上高	27,001	27,167	27,540	27,968	28,452
成長率	—	0.6%	1.4%	1.6%	1.7%
営業利益	293	703	717	714	731
利益率	1.1%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%
EBITDA	1,186	1,232	1,275	1,376	1,484
利益率	4.4%	4.5%	4.6%	4.9%	5.2%

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上